

優しさに包まれ 立ち直りを支える 社会の実現を
～社会を明るくする運動にお力添えをお願いします～

助けを必要としている人がいます。「助けてほしい」。

そう思っても、他人に求めることをはばかりもあります。
人生に誤ちがあり、それも乗り越えて新たな人生を願う気持ち。
その願いがあっても、現実的にはそうもいかない困難さもある。
そこに見守りや声かけがあれば、勇気も出て一歩が始まるはず。
悩みをかかえ、いつかきつと、今日から必ずという願いがある。
そんな思いに気づき、あなたの優しさを少しさしのべてほしい。
明日を生きるため、よりよい人生を開くために、力をください。
罪に陥り、反省し、自らを正す決意をして、這い上がっていく。
そんな「言うは易く、行ふは難し」の事を支えてほしいのです。
人は、なにが原因で、罪を犯したり、過ちに染まるのでしょうか。
もしかしたら他人に迷惑をかけず、人に接するには優しくなど、
基本的なことを知らないまま育つ環境だったのかもしれませんが。
愛情の薄い環境や優しさに触れる経験がないと、人は荒れます。
愛のある中で育つと、誰も優しくなれると先人は述べています。
その最初の一粒の優しさを、あなたから始めてもらえませんか。
「そうかそうなんだ」と耳を傾け、「君ならできる」と励ます。
そういうやさしい日常をつくり、プレゼントしてみましょう。
そんな日々が重なれば、更生も叶い、社会復帰もできるはず。
その日を期待し、その人らしい新たな人生を支えましょう。
一人でも多く犯罪から立ち直り、全うな人生ができるために。
今年も社会を明るくする運動にご協力をお願いします。

令和6年7月1日

多久市社会を明るくする運動本部

本部長 多久市長

横尾俊彦

